

RUN 表示ランプ

CPU を実行モードに移行できない（RUN 表示ランプが消灯する）場合、CPU に致命的なエラーがない限り、ほとんどの場合、問題はアプリケーションプログラム内にあります。CPU に致命的なエラーが発生していれば、CPU LED ランプが点灯するはずですが。（プログラミング装置からエラーの原因を調べることができます）。

プログラミング装置（ハンドヘルドプログラマとダイレクトソフト）は、問題を説明するエラーメッセージを返します。エラーにもよりますが、メニュー機能を実行しても問題を診断することができます。プログラムエラーの中でもっとも多いのが「END 命令なし」です。アプリケーションプログラムが正常に終了するには END 命令が必要です。エラーコードの一覧については付録 B を参照してください。

CPU 表示ランプ

CPU 表示ランプが点灯していると、CPU 内で致命的なエラーが発生しています。一般に、この場合はプログラムの問題ではなく、ハードウェア自体の故障です。システムの電源をリセットすると、エラーを解除できる場合があります。エラーが解除されるならば、システムを監視して問題の原因を調べる必要があります。高周波数の電気ノイズが外部から CPU 内に混入していることがこの問題の原因となっている場合があります。システムの接地状態をチェックして、接地が問題と思われる場合は、電気ノイズフィルタを設置してください。システムの電源をリセットしてもエラーが解除されない場合、あるいは問題が再発する場合は、CPU を交換する必要があります。

通信障害

CPU との通信を確立できない場合は、下記の点をチェックしてください。

- ケーブルが外れている。
- ケーブルのワイヤが断線している、または正しく配線されていない。
- ケーブルの終端が不良となっている、またはケーブルが接地されている。
- 接続している装置が正しいボーレート（9600 ボー）で動作していない。
- ポートに接続している装置がデータを正しく送信していない、あるいはその装置で別のアプリケーションが実行されている。
- 2 台の装置間で接地方法が異なっている。
- 電気ノイズにより、断続的なエラーが発生している。
- PLC の通信ポートが故障している（この場合は交換してください）。

パーソナルコンピュータで稼動しているダイレクトソフトとの通信障害については、『ダイレクトソフトマニュアル』を参照してください。トラブルシューティングのセクションで説明していますので、通信ポートのセットアップ、アドレスまたは割込みの競合など PC 側の問題を診断する際に参考にしてください。